

平成24年4月13日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 2件  
(うち石油ストーブ(開放式)1件、ガスふろがま用バーナー(LPGガス用)1件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、  
製品起因が疑われる事故 4件  
(うち食器洗い乾燥機(ビルトイン式)1件、電気冷蔵庫1件、電気ケトル1件、  
電気ストーブ(カーボンヒーター)1件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、  
製品起因か否かが特定できていない事故 10件  
(うちエアコン(室外機)1件、除雪機(歩行型)2件、  
ベッド(コンセント付き)1件、湯たんぽ1件、オーブントースター1件、  
電気ミニマット1件、湯たんぽカバー1件、浴槽組蓋1件、電気こたつ1件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故公表等調査会及び第三者  
委員会合同会議(※)において、審議を予定している案件  
該当案件無し

1. ~ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者委員会消費者安全専門調査会製品事故情報の公表等に関する調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません(管理番号A201000019、A201000050、A201000705、A201001017及びA201200032を除く。)

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

## 6. 特記事項

### (1) 株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー（LPガス用）について (管理番号A201200032)

#### ①事故事象について

株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー（LPガス用）から出火する火災が発生し、当該製品を焼損しました。

当該事故の原因は、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部のダイヤフラム（ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁）に亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至ったものと考えられます。

#### ②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、平成19年4月19日からホームページによる告知により注意喚起を行い、OEM製品を含む対象製品について無償点検・部品交換を実施しています。

#### ③対象製品等：会社名、機種・型式、製造期間

改修対象製品には、同社製のガスふろがま用バーナーを組み込んだガスふろがまを製造している株式会社オカキンと、株式会社世田谷製作所からバーナー付ふろがまのOEM供給を受け、販売している他2社（東京ガス株式会社、株式会社ハーマン）の製品もあります。

会社名	機種・型式	製造期間
(株)世田谷製作所	R38B R137B CS31B CS32B CS33B FE15 TA-097UET TA-270UET TA-OK270UET GS-1	1998年5月～2006年5月 1997年6月～2006年5月 1998年6月～1998年8月 1998年10月～2006年4月 2001年5月～2001年6月 2000年4月～2006年5月 1997年9月～2006年5月 1997年8月～2006年5月 1997年8月～2006年5月 2000年11月～2005年11月
(株)オカキン	OK-AR型-LE OK-BR型-LE	1997年11月～2006年8月 1997年11月～2006年7月
東京ガス(株)	ST-913RFA ST-912RFBシリーズ ST-9150CFS	1997年6月～2006年5月 1998年5月～2006年5月 1999年10月～2006年5月
(株)ハーマン	YF702	1997年6月～2002年2月

改修対象台数

39,337台

改修率

71.7%（平成23年9月30日現在）

## 対象製品の確認方法

浴室内に下記リモコンのどちらかが設置されている場合は、上記対象表の機種・型式、製造期間が該当していないか御確認ください。



※ GS-1のストーブは除きます。

### ④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う無償点検・部品交換を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(株式会社世田谷製作所の問合せ先)

電話番号：0120-634-126

受付時間：9時～17時（平日のみ。）

ホームページ：<http://www.setagaya-seisakusyo.co.jp/cgi-bin/pdfdata/20081211220036.pdf>

(株式会社オカキンの問合せ先)

電話番号：0120-581-126

受付時間：9時～19時（日・祝日を除く。）

ホームページ：<http://www.okakin.com/news/0.html>

(東京ガス株式会社の問合せ先)

電話番号：0120-133-278

受付時間：9時～19時（月～土）

9時～17時（日・祝日）

ホームページ：<http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20070418-03.html>

(株式会社ハーマンの問合せ先)

電話番号：0120-248-772

受付時間：9時～17時30分（平日のみ。）

ホームページ：<http://www.harman.co.jp/news/news18.html>

## サンクン (2) 燦坤日本電器株式会社が輸入した電気ストーブ（カーボンヒーター）について (管理番号A201001017)

### ①事故事象について

燦坤日本電器株式会社が輸入した電気ストーブ（カーボンヒーター）が焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、当該製品の強弱切り替えスイッチに使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、火災に至ったものと考えら

れます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、平成23年2月10日に新聞社告を掲載するとともにホームページへ情報を掲載し、平成23年2月15日以降、対象製品について回収を行い、返金又は代替品への無償交換を実施しています。

③対象製品等：製品名、機種、表示製造年、回収対象台数

製品名	機種	表示製造年	回収対象台数
電気ストーブ（カーボンヒーター） ブランド名： EUPA（ユーパ）	UHC-3T （色：ベージュ）	08年製 又は 09年製	16,269
	UHC-9T （色：ブルー）	07年製	10,303
	TSK-5328CT （2007年製）	07年製	1,760
合 計			28,332

回収率 6.7%（平成24年3月31日現在）

対象製品の確認方法



- 【左】UHC-3T（色：ベージュ）
- 【中】UHC-9T（色：ブルー）
- 【右】TSK-5328CT

（確認方法）  
当該製品の裏面の型番を確認してください。

当該事業者は平成20年4月21日から下記の製品についてリコール対策を実施し、代替品としてUHC-3Tとの交換を行っていますが、これらの製品及び既に代替品として交換したUHC-3Tについても代替品への無償交換又は返金対応を実施しています。

(カーボンヒーター)

TSK-5328CT (2005年製、2006年製)

TSK-5328CRI (2005年製、2006年製)

TSK-5328CRI (2005年製、2006年製)

TSK-5328CRI (BW) (2005年製) ※販売元：株式会社バルス

(ハロゲンヒーター)

FT-900T (2006年製、2007年製) ※販売元：株式会社フィフティ

#### ④消費者への注意喚起

当該製品をお持ちの方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(燦坤日本電器株式会社 電気ストーブ (カーボンヒーター) 回収交換ダイヤル)

電話番号：0120-600-527

受付時間：9時～17時 (土・日・祝日、年末年始を除く。)

ホームページ：[http://www.tsannkuen.jp/tkj/jsp/tkj\\_web/announce/Announce\\_4.pdf](http://www.tsannkuen.jp/tkj/jsp/tkj_web/announce/Announce_4.pdf)

#### ⑤独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) の対応

燦坤日本電器株式会社以外の事業者が製造・輸入・販売した電気ストーブ (カーボンヒーター) のリコール未対策品についても火災事故が発生しているため、独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) においては、平成23年2月25日より事故防止のための注意喚起チラシ「電気ストーブのリコール製品をお持ちではありませんか？」をホームページに掲載し、消費者に対して、速やかに事業者に連絡を頂くよう呼び掛けを行っています。

(独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) による注意喚起)

ホームページ：[http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/data/recall\\_denki\\_110225.pdf](http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/data/recall_denki_110225.pdf)

(本発表資料の問合せ先)

消費者庁消費者安全課

(製品事故情報担当) 担 当 : 中嶋、榎本、川船<sup>かわふね</sup>

電 話 : 03-3507-9204 (直通)

F A X : 03-3507-9290

(株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー (LP  
ガス用) についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当 : 宮下、谷、山田 電 話 : 03-3501-1707 (直通)

(燦坤日本電器株式会社が輸入した電気ストーブ (カーボンヒーター)  
一) についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当 : 宮下、古田、長沼 電 話 : 03-3501-1707 (直通)

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200029	平成24年1月20日	平成24年4月10日	石油ストーブ(開放式)	RX-2910WY	株式会社コロナ	火災	当該製品を使用中、外出したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。当該製品の上で可燃物(洗濯物)を干していた可能性を含め、現在、原因を調査中。	北海道	事業者が事故を認識したのは、4月2日
A201200032	平成24年3月30日	平成24年4月10日	ガスふろがま用バーナー(LPガス用)	TA-OK270	株式会社世田谷製作所	火災	当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。事故の原因は、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部のダイヤフラム(ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁)に亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至ったものと考えられる。	兵庫県	平成19年4月19日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 71.7%

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201000019	平成22年3月26日	平成22年4月7日	食器洗い乾燥機(ビルトイン式)	TDW-3000BP(タカラスタンダード株式会社ブランド)	松下電器産業株式会社(現 パナソニック株式会社)(タカラスタンダード株式会社ブランド)	火災	当該製品が焼損する火災が発生した。事故原因は、長期使用(約15年)により、ドア開閉レバーブロックの固定部が破損したことで、ドアに取り付けられたマイクロスイッチ端子部に外力が加わり、接触不良が生じて異常発熱し、出火に至ったものと考えられる。なお、事故以前から、ドア開閉レバーブロックがぐらつくなどの支障があるにも関わらず継続使用されていたことも影響していると考えられる。	愛知県	平成22年4月9日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A201000050	平成22年4月4日	平成22年4月15日	電気冷蔵庫	CAV-101D3	ドメティック株式会社	火災	当該製品背面から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。事故原因は、当該製品のヒーターリード線のカシメ不良により接触抵抗が増大して異常発熱したことで、リード線の絶縁被覆が劣化し短絡(スパーク)が生じて周囲の断熱材に引火し、出火に至ったものと考えられる。	神奈川県	平成22年4月20日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201000705	平成22年11月12日	平成22年11月24日	電気ケトル	G-3058	株式会社アサヒ	火災 軽傷1名	当該製品を使用後、当該製品から発煙、内部が溶融する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損、1名が火傷を負った。 事故原因は、当該製品が空焚きとなった際、空焚き防止装置が正常に作動しなかったため、通電状態が続いて過熱し、出火に至ったものと考えられるが、スイッチレバーやスイッチ樹脂部の焼損が著しいことから、通電状態となったこと及び空焚き防止装置が作動しなかったことについて、原因の特定には至らなかった。なお、当該製品の取扱説明書には、「使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く」旨、記載されている。 事業者は、平成23年5月31日からホームページにスイッチ部分の周囲には触れるような物がない事を確認するなどの使用上の注意喚起を行っている。	京都府	平成22年11月26日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A201001017	平成23年2月14日	平成23年3月1日	電気ストーブ(カーボンヒーター)	UHC-3T	燦坤日本電器株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品が焼損する火災が発生した。 事故原因は、当該製品の強弱切り替えスイッチに使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、火災に至ったものと考えられる。 事業者は平成23年2月10日に新聞社告を掲載し、返金又は無償交換を実施している。	東京都	平成23年3月4日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの(特記事項を参照)

### 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200022	平成24年3月31日	平成24年4月9日	エアコン(室外機)	火災	異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	長崎県	4月12日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200023	平成24年3月23日	平成24年4月9日	除雪機(歩行型)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	青森県	
A201200024	平成24年3月15日	平成24年4月9日	ベッド(コンセント付き)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の電源コードが断線していた状況を含め、現在、原因を調査中。	千葉県	事業者が事故を認識したのは、3月26日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し 厳重注意
A201200025	平成24年2月17日	平成24年4月9日	除雪機(歩行型)	火災	当該製品を使用後、物置に入れ、エンジン停止後、炎が見えたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	北海道	事業者が事故を認識したのは、3月30日 3月8日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200026	平成23年12月23日	平成24年4月9日	湯たんぽ	重傷1名	湯たんぽカバーに当該製品を入れて使用中、足に低温火傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	事業者が事故を認識したのは、4月6日 湯たんぽカバーに関する事故 (A201200030)と同一 2月23日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200027	平成24年3月24日	平成24年4月10日	オーブントースター	重傷1名	当該製品で調理後、当該製品のドアを開けたところガラスが割れたため、逃げようとした際、肩を負傷した。現在、原因調査中。	香川県	
A201200028	平成24年4月4日	平成24年4月10日	電気ミニマット	火災	発煙に気付き確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因調査中。	埼玉県	

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故(続き)

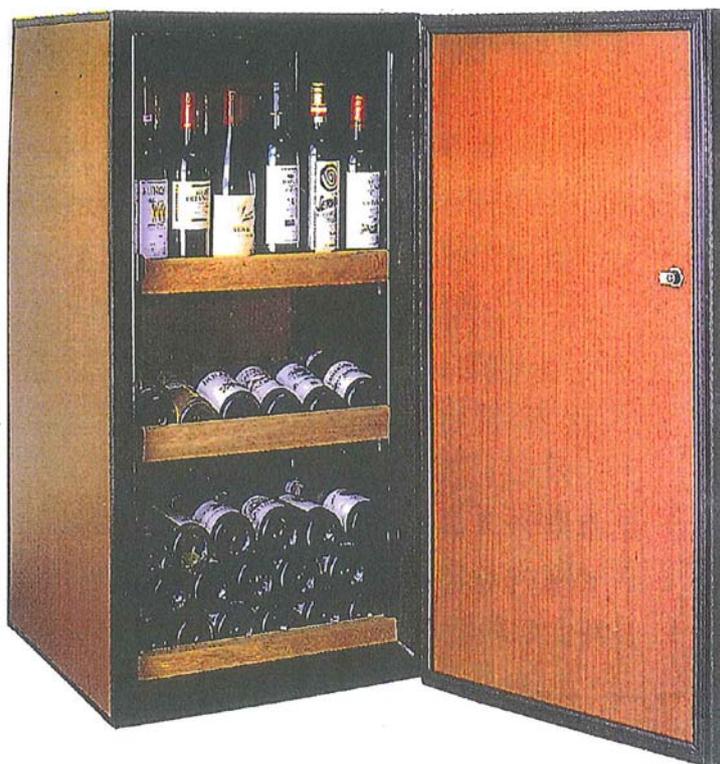
管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200030	平成23年12月23日	平成24年4月10日	湯たんぼカバー	重傷1名	当該製品に湯たんぼを入れて使用中、足に低温火傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	事業者が事故を認識したのは、4月5日湯たんぼに関する事故(A201200026)と同一
A201200031	平成24年3月17日	平成24年4月10日	浴槽組蓋	重傷1名	入浴後、浴室の折り戸を開けたところ、立て掛けてあった当該製品が倒れ、背中に当たり負傷した。当該製品の置き台が設置されていなかった状況を含め、現在、原因を調査中。	愛知県	
A201200033	平成24年3月21日	平成24年4月11日	電気こたつ	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	広島県	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故公表等調査会及び第三者委員会合同会議において審議を予定している案件  
該当案件無し

食器洗い乾燥機（ビルトイン式）（管理番号：A201000019）



電気冷蔵庫（管理番号：A201000050）



電気ケトル（管理番号：A201000705）



電気ストーブ（カーボンヒーター）（管理番号：A201001017）

